

パプアニューギニア・LNGプロジェクトの基本設計(FEED)開始について～LNGプロジェクト事業化に向け大きく前進～

記者各位

当社(社長:西尾 進路)グループの石油開発部門である新日本石油開発株式会社(社長:古関 信)が出資する日本パプアニューギニア石油株式会社の100%子会社(マーリンベトリアム)は、5月22日(木)、パプアニューギニア独立国でのLNGプロジェクト事業化に向けた基本設計(Front End Engineering and Design)を開始することについて、プロジェクト参加企業間で合意しましたので、お知らせいたします。

本プロジェクトは、パプアニューギニア独立国における初めてのLNGプロジェクトで、LNGの生産数量は年間630万トンを見込んでいます。パプアニューギニア中央部のサザンハイランズ州およびウエスタン州に位置するガス田(ジュハ、ハイズ、アンゴレ)および油・ガス田(モラン、クツブ、ゴベ)から生産される天然ガスを、全長700キロメートルを超えるパイプラインで首都ポートモレスビーの近郊まで輸送し、今後建設を予定しているLNGプラントで液化する計画です。

今回の基本設計開始の合意に先立ち、パプアニューギニア独立国政府と、当社を含む本LNGプロジェクト参加企業との間で、事業に適用される税率やパプアニューギニア国の事業参加条件等、本LNG事業実施のための基本条件を規定した契約を締結致しました。今後、他のプロジェクト参加企業と共に、プロジェクト基本設計(FEED)の実施と並行して、LNGマーケティング、資金調達計画等を検討し、2013年後半のLNG生産開始を目指した事業化についての最終判断を行ってまいります。

以上

<パプアニューギニア LNGプロジェクトの位置図>



1. パプアニューギニア・LNGプロジェクト参加企業およびその権益比率

参加企業	権益比率※	概要
エクソンモービル	41.5%	本プロジェクトのオペレーター
マーリンペトロリアム	1.8%	日本パプアニューギニア石油の100%子会社
オイルサーチ	34.0%	パプアニューギニア法人
サントス	17.7%	豪州大手石油会社
AGL（オーストラリアガスライト）	3.6%	豪州大手都市ガス供給会社
地権者分権益、及び PNG 政府系企業	1.4%	

※現時点の権益比率は暫定であり、プロジェクトの事業化決定時に確定される。

2. 日本パプアニューギニア石油株式会社について

- (1) 名称 : 日本パプアニューギニア石油株式会社
(英文名) Japan Papua New Guinea Petroleum Company, Limited
- (2) 設立 : 1990年6月7日
- (3) 所在地 : 本社…東京都港区西新橋1-3-12
- (4) 代表者 : 取締役社長 古関 信 (新日本石油開発株式会社代表取締役社長)
- (5) 資本金 : 128億2,600万円 (2007年12月31日現在)
- (6) 株主構成 : 日本国 : 62.03%
新日本石油開発 : 36.41%
三菱商事 : 1.56%
- (7) 事業目的 : パプアニューギニアにおける石油、天然ガスおよびその他鉱物資源の探鉱・開発・採取ならびに鉱業権の取得・売買および貸借

以上